

ありあけ浄水場給水開始で水道水の水質が変わりました

水道局総務企画係 ☎ 64-3317

4月1日にありあけ浄水場が給水開始したことで、中央配水区から配水する水道水の水質が変わりました。

今回の水質検査では、蒸発残留物と硬度、塩化物イオンは前回（平成23年12月6日）の検査結果から変化しました（右表）。それにより、口当たりも変わっていると考えられます。中央配水区から給水を受けている家庭では水道水を15℃前後に冷やして味わってみてください。

※味覚は個人の感覚ですので、本人の体調や外気温にも左右されると言われています。

※配水区や詳しい検査結果は、水道局とホームページで確認できます。

数値はあくまで4月20日の検査結果です。中央配水区の水道水は、ありあけ浄水場で浄水した水に水道の使用状況に応じて、地下水のブレンド割合を変更していますので、水質は一定ではなくわずかな変化があります。

中央配水区以外で給水を受けている人には引き続き地下水を配水します。

●中央配水区水道水の水質検査結果

検査項目	単位	水道水の基準値	H23.12.6	H24.4.20
蒸発残留物	(mg/l)	500以下	452	189
硬度	(mg/l)	300以下	210	82.8
塩化物イオン	(mg/l)	200以下	100	24

ありあけ浄水場を見学しませんか！

団体単位でのありあけ浄水場の見学を受け付けています。

◆見学内容と所要時間

- ・DVD「水道水が浄水されるまでの流れ」視聴（およそ12分）
- ・荒尾市水道事業の概要説明（およそ15分）
- ・浄水場内の見学（およそ40分）

◆見学できる日と時間帯

原則月曜～金曜で、祝日と年末年始は除きます。時間は午前9時～午後4時です。

※調整できますので、申し込むときにご相談ください。

◆申込方法

次の各項目を電話でご連絡ください。

- ①団体名と代表者名
- ②見学を希望する日時
- ③人数
- ④連絡先

※予約の状況により、ご希望に添えない場合があります。

[申・問] 水道局総務企画係 ☎ 64-3317

6月は環境月間 環境を守る取り組みをサポートします

環境保全課環境企画調査係 ☎ 63-1386

親しい人とグループを作り節電しませんか？

始めてみませんか、ダンボールコンポスト

地球温暖化防止対策を推進するため市民の皆さんがグループを作り、節電に取り組んだ割合に応じて、活動支援金を支給します。

●対象期間 7月～平成25年1月31日(木)

●確認方法

電気使用量のお知らせ(コピー)で確認します。

●応募方法 2世帯以上でグループを作り、代表者が申し込んでください。

7カ月分の電気使用量データをそろえた世帯に300円を支給します。※使用量が前年同月を上回る月が実施期間中の過半数を超えると支給できません。

●応募締切 7月31日(火)

●活動支援金の額

前年同月比の節減率	活動支援金
4%以上 6%未満	200円
6%以上 8%未満	300円
8%以上 10%未満	400円
10%以上 12%未満	500円
12%以上	600円

(1カ月、1世帯当たり)

工コパートナーあらお市民会議と荒尾市が共催で、ダンボール箱と生ごみを活用した、たい肥作りの講習会を開催します。

ちょっとした工夫と努力で、生ごみを減らしてみませんか。以前参加し、現在実践している人も再受講することができます。

●講師

循環生活研究所ダンボールコンポストサポーター

●日時 6月22日(金) 午後1時30分～

●場所 市役所11号会議室

●定員 新規の人50人(再受講者は定員外)

※新規の人には実践アンケート提出を条件に器材を提供(専用ダンボール箱ともみ殻くん炭など)します。再受講者に器材提供はありません。

●申込締切 6月19日(火)

市と行政のパイプ役・行政協力員 新任21人をご紹介します

総務課行政管理係 ☎ 63-1209

5月1日付けで、126人の行政協力員を委嘱しました。そのうち、新任の行政協力員をご紹介します。

●新任行政協力員の皆さん(敬称略)

行政区名	行政協力員	連絡先
本村	畑中征夫	☎ 63-0332
普源寺	藪内孝則	☎ 63-0097
上小路	遠藤宏文	☎ 63-0703
西原町2丁目	菊本憲	☎ 63-0607
大島町3丁目	宮崎勝義	☎ 62-1306
中央東	味富久子	☎ 66-2256
新大和	多田俊一	☎ 66-2245
倉懸東・中・西	西村健一	☎ 62-1709
古庄原・平井大谷	辛島正春	☎ 66-0224
陣屋敷・宿	永井惟成	☎ 66-3176
唐池	成清淳	☎ 68-3668

前任者には長い間ご協力いただき、ありがとうございました。

行政区名	行政協力員	連絡先
上井手下	山田礼二	☎ 66-1111
川北	深浦一博	☎ 66-1383
金山上	山崎和義	☎ 68-3220
金山下	前田實	☎ 68-4154
野原南・北	西田真直	☎ 68-4255
下赤田	隈学	☎ 68-1252
井川口	小島敏一	☎ 68-3661
八幡台2丁目	宮尾文法	☎ 68-5124
北増永	永尾和知	☎ 62-5509
高浜	宮丸豊	☎ 68-4373

◎任期 平成25年4月30日まで

「しあわせ 優都 あらお」を目指して ～第5次荒尾市総合計画がスタートしました～

政策企画課政策経営室 ☎ 63-1273

本市におけるまちづくりの長期ビジョンであり、最上位計画である第5次荒尾市総合計画(平成24年度～平成33年度)を平成24年3月に策定し、本年度から取り組んでいきます。

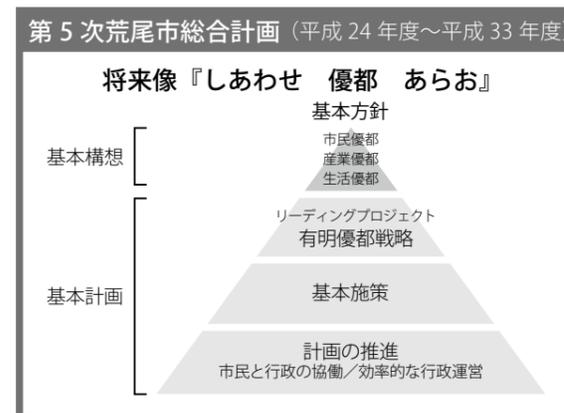
市の将来像を、「ふるさとの誇り、人のつながりを大切に自然と夢にあふれるまち『しあわせ 優都 あらお』と定め、市民と行政の協働のまちづくりを基本的な取り組み方とし、福岡都市圏と熊本都市圏の間に位置する地理的優位性をあらゆる分野において有効に活用しながら、暮らしやすく、交流が盛んなまちづくりを目指します。

また、この将来像を実現するため、今後5年間で、特に取り組むべき施策をまとめたものをリーディングプロジェクト『有明優都戦略』と名付け、5つのプロジェクト(「健康のまち」プロジェクト、「子どものまち」プロジェクト、「産業のまち」プロジェクト、「観光のまち」プロジェクト、「暮らしのまち」プロジェクト)に取り組めます。

計画の策定にあたっては、まちづくりワーキンググループからの提言、パブリックコメントなど、多くの人の意見を取り入れながら、総合計画審議会からの答申を経て取りまとめています。

今後も、市民の皆さんとともに計画の目標や進捗状況などの情報を共有するため、毎年取り組み状況を公表するなど、分かりやすく情報を伝えていきます。

第5次荒尾市総合計画に関する詳しい情報は、ホームページに掲載しています。



▲市内36団体の代表者によるワーキング・グループを計4回実施。



◀第5次荒尾市総合計画の冊子も完成しました。